

# いわき晶巳 議会 報告

第45号  
〒936-0808  
滑川市追分3793  
TEL 477-1857  
FAX 471-2133  
発行者  
市議会議員  
会派 自民  
岩城 晶巳



## 六月定例議会より

令和三年六月七日(月)  
六月二十一日(月)

皆様のご支援のおかげをもちまして、昨年の12月より二度目の議長職を務めさせていただいております。今年、議員の任期満了を迎える年であり、これまでも増して皆様信頼され、存在感のある議会にするため努力する所存であります。

### ○6月議会より

この度の新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の生命のみならず、地域経済や社会生活に今までに経験したことのない大きな変化が生じてきました。

本感染症に向けた最大の切り札とされるワクチン接種につきましては、本市における75歳以上となる高齢者の接種予約率は約82%（6月7日現在）となっており、国によるワクチン供給の見通しも明らかとなり、5月24日からかかりつけ医での接種を基本とし、市内12の医療機関において順調に接種が行われております。5月31日には65歳以上の方々の接種券も発送され接種の予約の受付がなされております。また追加策として、市民大ホールにおいて7月10日と3週間後の7月31日に集団接種（600名）を実施することが決定されました。また県も富山空港ターミナルビル特設会場において、集団接種を行いますので滑川市からも送迎バスが運行されるので申し込みを早めにお願致します。このように連携体制の強化のもと、接種を希望する全市民が円滑に接種を受けられるよう、予約キャ

ンセルの調整など安心、確実に多くの方々に実施できるよう努めるところであります。空き家対策として、今年度建設部に空家居住対策課を新設し、市内全域の空家調査を実施し、実態を把握し、市民等に適正管理の重要性を認識していただき空き家対策を一層強化してまいります。

また、感染症による影響が長期化する中で、所得の低い子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、国による子育て世帯生活支援特別給付金を支給するため、所要の予算を計上しております。

感染防止と感染症終息後も見据え、市内店舗等における非接触型の電子決済の普及促進を図り、あわせて市内での消費喚起の後押しを目的としたキャッシュレス決済促進事業については7月1日からキャンペーンを開始することとし、利用する決済サービスは、PayPayとしております。

あわせて、第3弾となる「プレミアム付商品券」の発行を7月31日の発売開始に向け準備を進めております。

学校教育については、感染症対策を徹底し、学習活動を工夫しながら、可能な限り学校行事や部活動等も含めた学校教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保障していくことが重要と考えております。国のGIGAスクール構想による1人1台端末の整備事業については、全児童生徒への配布を完了し、授業などで使用を開始しております。整備したICT機器は、学力向上や探究学習、感染症の感染拡大や災害時などのオンラインでの学習においても活用できることから、子どもたちの学びの質を高めていけるものと考えています。

### 追伸

接種券発送について  
6月29日発送60歳～64歳  
7月6日発送40歳～59歳  
7月13日発送12歳以上～39歳

## 6月定例議会 会派代表質問より

1. スポーツアカデミーサッカー場人工芝について

問(1) オープンから8年が経過し、サッカー場の利用者はどれくらいか。

答 オープンした平成25年度には57,043人、ピークの平成27年度には89,379人、昨年度までの平均では年間およそ68,000人が利用している。当初の見込み利用者数は年間40,000人程度であり、想定より多くの方々に利用いただいている。

問(2) 人工芝がかなり劣化し、芝が糸状になりアスファルトの上でプレーをしている感であるとのことであるが、現状を把握しているのか。

答 当初、人工芝の耐用年数を10年程度と見込んでいた。想定より多くの方々に利用していただいていることもあり、特にゴールエリア付近など、選手が集中するエリアの芝に劣化が進んでいると認識している。

施設を管理するNPO法人フットボールセンター富山が年に一度、業者によるメンテナンスを行っており、近年、一部芝の劣化が進んでいると報告を受けている。

問(3) プレーする選手がすべて危険であると悪評が出ているが、早期に人工芝を張り替え、安全を確保すべきではないか。

答 日頃より、プレーに支障がないよう維持管理に努めているが、使用頻度により人工芝の劣化も見られるため、安全に利用いただけるよう



人工芝の張り替えが待たれるスポーツアカデミーサッカー場。利用者から人工芝の消耗が激しく、ふわふわ感がなくなりアスファルトの上でやっている感じがすべりやすく怪我が心配であると苦情が寄せられている。

2. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

問(1) 拡大防止対策事務局は健康センター職員のみか。

答 本市における新型コロナウイルス対策については、部課長以上の約40名が出席する対策会議を組織して対応している。ワクチン接種に関する情報についても、職員全員で情報を共有するなど、市を挙げて取り組んでいるところである。

問(2) ワクチン接種の予約、接種は順調に進んでいるのか。接種者・予約者は何人か。外国人はどうするのか。

答 高齢者のワクチン接種予約については、市内の医療機関とコールセンターにおいて、75歳以上は5月10日から65歳以上は5月31日から受付をしており、開始当初は予約希望者の電話が集中してつながりにくく、予約が取りにくい状況となっていたが、しばらくして落ち着いており、その後、順調に予約されている。予約者については、6月9日現在で、65歳以上の高齢者7,688人が1回目の予約をされており、予約率は78.7%となっている。

問(3) 接種方法や接種年齢等が変更されてきているが、大丈夫か。市民に分かるように広報すべきと思うが、(防災無線の利用)

答 本市では5月31日から65歳以上を対象とした予約を開始し、ワクチン接種の機会の増加を目的として、「集団接種」を追加で設定し、予約を受け付けてきたところである。

問(4) 児童生徒の学習面・精神面において変化はないか。

答 臨時休業から始まった昨年度は、児童生徒の学習面において、①体験活動等の制限があり、学習意欲が低下する子どもがいた。②コミュニケーションに不安を感じる子どもがいた。③部活動や交流試合等の制限があり、技術や体力の向上が少なかった。④家庭が見られ、精神面においては、①家庭において、ゲームや動画視聴に使う時

このうち、高齢者施設入所者415人の96.1%、399人が2回目の接種を終えている。外国人(459人)については、市内に住民票を持つている者を対象とし、国が定めた接種順位に基づいて接種していくこととしている。また、市内事業所における従事者については、事業所等の協力を得ながらの対応が必要であり、各種情報が確実に届くよう、調整してまいります。

間が増えることで、生活習慣を乱す児童生徒がいた。②ストレス発散のため、乱暴な言動が見られる子どももいた。③長期の臨時休業後、学校が再開しても生活のリズムを作ることができず欠席する子どももいた。などの変化が見られた。

今年度は、感染症対策を徹底し、子どもの成長に大切な探究活動や体験活動、集団活動、スポーツをできる限り取り入れることで、子どもたちの学びを保障している。このことから、子どもたちの学習意欲が高まり、仲間と協力しながら課題を解決する力や運動技術・体力の向上も図られている。

また、各学校において定期的な面談を行い、コロナ禍で心に悩みを抱える子どもの把握に努め、一人一人、個に応じた指導を行うとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員や子どもと親の相談員、カウンセリング指導員や養護教諭等により、支援の必要な児童生徒への対応に努めている。

### 3. 中滑川駅前エリア整備事業について

問(1) (仮称) 中滑川複合施設の最初の入札がなぜ成立しなかったのか。

(仮称) 中滑川複合施設の入札については、本年4月26日に公告し、5月24日を開札日として実施したところ、一旦は入札参加申し込みがあったものの、その後の辞退に伴い、入札自体が中止となったものである。

入札が実施されていないため、辞退理由の特定には至っていないが、設計図書に対する質問において、工事完成期限に関する質問が見受けられなかったことから、金額面で折り合いが付かなかったものと考えている。

問(2) 来年3月末までに完成するのか。また、完成しなかったら、補助金等はどうなるのか。

再度の入札については、市場における実勢価格の把握に努め、見積り単価、仕様や設備の見直しを行い、工事

完成期限についても、当初の令和4年3月15日から15日間延長し、3月30日に見直ししたところである。

施設の建設については、その期限を目標に鋭意進めることとしているが、万が一完成時期が遅れた場合、国庫補助金への影響として、社会資本整備総合交付金(国土交通省)については、制度上、翌年度への繰越が可能であるが、地方創生拠点整備交付金(内閣府)については、災害の発生など、やむを得ない場合を除き、繰越は難しいと考えており、今年度内での出来高にのりての交付となる。

なお、今後、建設が着工した場合、地方創生拠点整備交付金に影響を及ぼさぬよう施工方法等の工夫に努めることとしている。

問(3) 店舗への入居者は決まっているのか。

街の賑わい創出に協力いただける施設へのテナント事業者については、これまで市広報誌、ホームページ、タウン情報誌などへの掲載のほか、商工会議所、市内飲食店組合、喫茶店など約50の個人・団体へ協力依頼を行ってきたところであるが、新型コロナウイルスの影響で、なかなか厳しい交渉を余儀なくされているところである。

現在、自立性や継続性等を審査するため、申し込みのあった事業者から事業計画書を提出してもらっているところであるが、提出自体を延期してもらえないかとの相談もあり、事業者自身も出店に関して慎重に見極めているものと思われる。

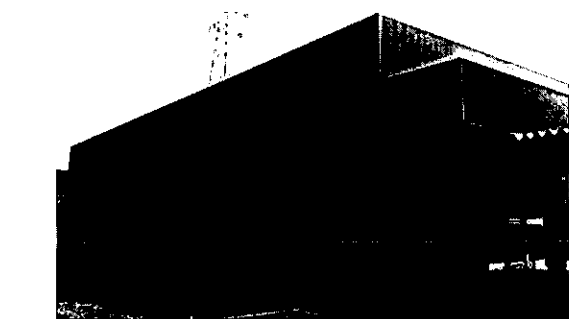
中滑川駅前エリアに新たに幅広い世代の人々が集い、滞在し、交流できる「新たな賑わい空間」に、飲食・物販は必要不可欠な業態であることから、出店に向け、事業者と協議を重ね、その中で必要な支援等にも努めてまいります。



(仮称) 中滑川複合施設完成予想図  
(仮称) 中滑川複合施設については、二度の入札が不発になりました。原因として資材の高騰が著しく予算との開きが大きいため、当局はもう一度予算を見直し入札を実施するとのことです。



参議院議員選挙応援に駆けつけていただいた小淵優子衆議院議員交流プラザ前



早月加積認定子ども園 遊戯室から新遊戯室へ



北海道名寄市からの視察受け入れて「議会改革」について説明者として対応する



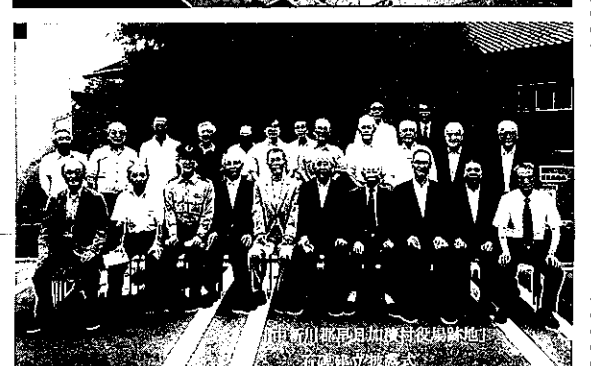
横山裕中国大使(2016年~2020年11月) 日中友好富山県地方議員連盟で中国訪問時に日本大使館表敬訪問 大使は射水市出身です



学校にタブレット1人1台の配備 滑川市は3学期末までに小中学校全員に配備されました



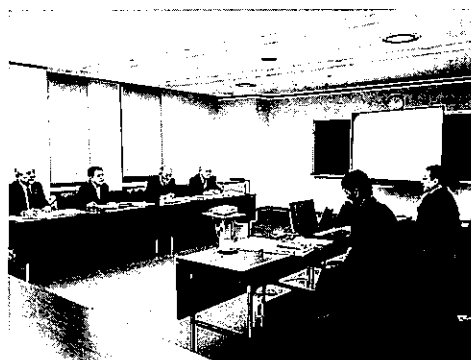
令和2年(2020)7月18日、石碑「中新川郡早月加積村役場跡地」を旧村役場跡地に建立(建立委員長として経過報告をする)



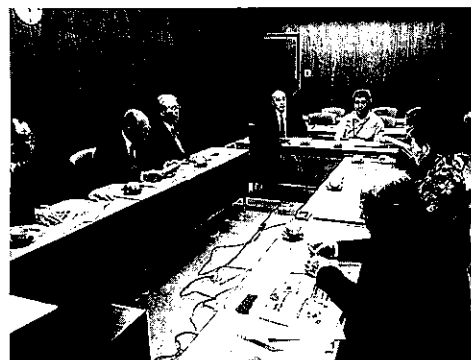
新川土木センターへ自民党滑川市連の重点要望を提出 河川や護岸の災害対策や道路改良など48項目 令和2年11月



山口県(令和2年2月)



防府市 土曜日の教育活動について



萩市 ICTを活用した遠隔授業について